

クラウドサービス導入支援業務委託企画競争に係る質問及び回答

番号	質問	回答
1	本事業の企画提案にあたり、提供する業務品質の向上や効率化の観点で、外部の事業者へ業務の一部発注又は再委託をすることを検討しております(契約金額全体の1割弱程度)。公表資料を拝読し、特段再委託に関する条項が見られなかったのですが、本事業において再委託に関する禁止はない認識でお間違いないでしょうか。	当該公示ページに掲載している「委託契約書(案)」記載の第5条および第6条において、再委託(委任又は下請負)に関する条項を設けております。したがって契約締結時には、再委託に関して同条項の適用を受けることとなります。 ※委託契約書抜粋 (一括委任又は一括下請負の禁止) 第5条 乙は、委託の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。 (一部委任又は下請負の通知) 第6条 乙は、委託の一部を委任し、又は下請負するときは、相手方の名称その他甲が必要と認める事項をあらかじめ甲に対して通知しなければならない。
2	仕様書(案)「4 支援企業数」について、支援企業はすでに決められていますか。決められている場合は公開可能でしょうか。決まっていない場合は支援企業の業種・規模(従業員数、資本金、売上高)の想定はございますか。	本回答時点で支援企業は決まっておらず、支援企業の業種・規模の想定も特段ございません。※支援企業の募集は6月上旬開始予定。なお、参考までに、令和6年度(20社)の支援対象企業の業種・規模は以下の通りです。 <製造業> 20人以下:1社 21人以上:7社 <建設業> 20人以下:2社 21人以上:1社 <ソフトウェア業> 20人以下:1社 <小売業> 20人以下:1社 21人以上:1社 <サービス業> 20人以下:2社 21人以上:2社 <その他> 20人以下:1社 21人以上:1社
3	仕様書(案)「4 支援企業数」について、募集は委託者が行う旨記載されていますが、支援候補企業の推薦や選定方法のご支援等、受託者に求める事項や評価点に加味される事項はありますか。	支援企業の募集に際して、本業務内で受託者に求める事項や評価点に加味される事項はありません。ただし、支援候補企業の推薦や選定方法の支援等についての提案を妨げるものではありません。
4	仕様書(案)「5 業務内容」の「(2) ア クラウドサービス利用環境の用意、運用」について、支援企業が2025年9月頃～2026年2月頃の期間に利用するクラウドサービス経費が1社あたり40万円程度規模と理解しておりますが、支援企業各社がどのクラウドサービスを期間中に利用するかは、いつ頃、どのようにして決められる想定でしょうか。	支援企業各社は、事業開始時に実施する説明会やワークショップ(仕様書(案)5(2)エ)を通じて、導入するクラウドサービスの検討を開始します。これらは、9月以降の伴走支援の中で、支援企業ごとに順次決定していく予定です。
5	仕様書(案)「5 業務内容」の「(2) ア クラウドサービス利用環境の用意、運用」について、“クラウドサービス利用者の名義は、各支援企業を想定”とのことですが、各支援企業が直接サービス契約を結ばれる認識でよろしいでしょうか。本業務費用のクラウドサービス経費に係るご契約について、どのような商流を想定されているかご教示下さい。	クラウドサービス経費に係る契約に関しては、受託者がクラウドサービスベンダーとの間で代理販売契約等を行い、当該契約に基づいて支援企業にクラウドサービス利用環境を提供(クラウドサービスの利用者名義は支援企業)する商流を想定しております。ただし、当該商流により難しい場合は、委託者と協議の上で決定します。
6	仕様書(案)「5 業務内容」の「(2) イ 導入サポートの実施」について、“支援内容は支援企業別／日別に記録”とありますが、記録フォーマットは決められていますか。	記録フォーマットは定めておりません。契約締結後、委託者との協議の上で決定します。
7	仕様書(案)「5 業務内容」の「(2) エ 説明会/ワークショップ、成果共有会」について、会場選定は、受託者提案範囲でしょうか。会場の収容人数、場所について条件がございましたらご教示下さい。	仕様書(案)5(2)エの会場選定は受託者提案範囲外であり、委託者との協議の上で決定します。なお、会場の条件としては以下を想定しております。 ・30～40人程度が収容可能(参加者を5テーブル程度にグループ分けしたワークショップ形式の配置) ・岡山駅近辺で車でのアクセスが可能
8	仕様書(案)「5 業務内容」の「(2) エ 説明会/ワークショップ、成果共有会」について、開催形態に関しては、集合形式、オンライン形式等の指定はございますか。	支援企業相互の交流促進の観点から集合形式を原則とします。ただし、やむを得ない事情(悪天候や疫病の流行等)により集合形式での開催が困難と予想される場合には、委託者と協議の上で開催形式を決定します。

9	仕様書(案)「5 業務内容」の「(4) 予算管理」について、“ア 支援企業1社あたりのクラウドサービス経費は40万円程度を想定”とありますが、本業務の中では、クラウドサービス1種につき、支援企業1社あたり何人分のアカウントを利用される想定でしょうか。支援企業1社の全従業員へのアカウント配布を想定されているか、1社の中で数名に絞ってアカウントを配布される想定かご教示いただけますでしょうか。	支援企業のクラウドサービス利用にあたって必要とするアカウント数は定めておりません。伴走支援開始後、支援企業の状況に合わせて、クラウドサービス経費の範囲で必要数をご用意いただくことになります。
---	--	--